

2014年度 歓迎夕食会・上回生スタッフ用アンケートまとめ

1. 出席していた1, 2回生と、どのようなやりとりが印象に残りましたか？
 - やりとりがありませんでした。
 - 系の机に顔を出してくれた人の「興味を持ったきっかけ」の話が印象に残りました。「哲学」という特殊なものに興味を抱かれたということで、その興味を持つに至る過程も、それぞれ独自の、その人の考え方や人柄が反映されていて興味深かったです。
 - もうすでにある程度しぼっている人とは具体的に回生が上がったらどうするのか、について、まだ決めてない人・迷っている人に系はそんなにしぼりがないから広くとるとよいとアドバイスしたこと。
 - 仏像好きに会えてとても良かったです。
 - 「英語学と言語学でどのように違うのですか」
 - 専門が始まるまでにどんな勉強をすべきか何度か聞かれた
 - 系の紹介をして、1,2回生がどのような勉強をしたいのかをきいた。
 - 1回生の後期にどの授業を取るべきか。今から真剣に考えていると感じる質問を多くされました。
 - 何をやっているんですかと聞かれ、やっぱりイメージしづらいものなんだなと感じた。
 - 研究内容についての説明。〇〇はここで研究できるか？など。
 - 話を聞きに来てくれた1回生は少なかったのですが、興味を持ってくれたのがとてもうれしかったです。
 - 興味のある分野、志望する分野はわりと明確にしている人が多かったが、その分野を専攻するのに適した研究室となるとどれがよいのか迷っているらしいのが印象的だった。
 - 自分の研究室の礼賛と法学部の悪口。
 - 「なぜその専修にしたのか」という質問に対する答え。当初の気持ちを思いだせ、また頑張ろうと思えた。
 - みんな若くて楽しそうでした。
 - 「どこの専修に興味がありますか」「〇〇専修です（自分とは別のところ）」「あ...そうですね」
 - 社会学と二十世紀学の違いについて聞いてくる1回生が多かった（私は二十世紀学です）。
 - 他の専修との細かな違いについて。やりたいことをやる自由度について。
 - 何をやりたいのかわからないっていう人が多かったです。
 - 具体的な研究内容を話すとくいついてきてくれた。
 - 1回生は専修配属のときにどれほど自分がその分野に精通しているべきか不安なようだった。「学ぶのは分属されてからだから知識はいりません」と答えた。

- そもそもこの学問って何やってるの？という根本的な質問がでた。
2. 1, 2回生に対して、どのようなサポートをするのがより望ましいと思われますか？
- 語学その他、学習面でのアドバイス
 - 上回生に話を聞ける機会を設ける。もう少し頻繁にあればよいかもしれない。
 - これで良い。
 - 研究室見学のローテ回数を増やした方が多くの研究室を見ることができて良いかもしれません。
 - 研究室に入りやすくするのがよいと思う。
 - 実際に研究室にいる上級生の生の声をきくことが一番参考になると思うので、そういう機会が増えるとよい
 - 聞きたいときに聞ける場をつくる。合宿などしたら、聞きやすい関係になる。
 - 単位だけではなく、実際的な勉強についてもアドバイスするのはよいのではないか。
 - 1回生からとれる授業もあるということを知知すべき。その方が学部でやっていることのイメージが早いうちから持てる。
 - テーブルを大きくして、入ってきやすくしたらいいと思います。
 - 今回のように各専修のやっていることを具体的に知ってもらう機会があるととても良いと思います。
 - 具体的な、研究室に所属している学生の研究内容を説明すること。
 - 研究室訪問、迎えに行ったほうがよいのでは。一人で突然訪問するのは勇気がいると思う。
 - やりたいことがあるがどこで勉強できるのか迷っている人に、自分の専修を提案しつつ、適切なアドバイスを贈ったり。
 - 過去の卒論にアクセスしやすくして、どんな研究をしているのか（できるのか）具体的に知ることができるようにすると良いのではないかと思います。
 - 研究室や専修について気軽に聞けるネットワークを形成。
 - 専門科目の仕組みを説明する。
 - 卒論の内容とかを公開してあげると良いと思う。
 - 意識的には、自分が1回生のときの知識量や考えを思い出しながら接すること。内容的には、1回生が自己紹介などをして壁をなくすことで会話をスムーズにすること。
 - 先生ともっと交流できればよいかと。
3. 歓迎夕食会に参加して、どのような感想をお持ちですか？

- 能力不足を痛感しました。
 - 1、2回生と話すこともさることながら、自分の系の他の同年代の人と交流する機会にもなって、私自身とても得るものが大きかったです。
 - 色んな人と話せるよい機会であると思う。積極的に話しかけてくれるのに、対応するのでせいいっぱいで話しかけるよゆうはなかった。
 - 話が長い。1回生向けに研究室の説明は不要では？
 - 食事の量を増やしてもよいかと思います。
 - 食事があってよかった。
 - 立食ではなく席があったほうがよい。
 - こちらから話しかけないと話が始まらなかった。
 - ご飯が美味しかった。
 - 1回生と話すごとがまったくないので、とても楽しかったです。自分も改めて専修に対する興味をもった理由を思い出すことができてよかった。
 - 1,2回生が割りと多く参加していて、悩んでいる人が多いんだなと思った。系によって集まる1回生の数が違うのがはっきりと見えたのが興味深かった。
 - 自分は1回生の時参加しませんでした。いい企画なので参加すればよかったと思いました。
 - 長さ、内容がちょうど良いと思います。
 - 1回生にも拘わらずかなり分野をしばれていることに驚いた。
 - 参加する新入生の数が少ないように感じました。
 - 上回生自信も他専修の方と交流出来て、とてもよかったです。欲を言えば、もっと大々的に勧誘したかったです（前に出るとか）。
 - あまり1回生と触れ合う機会がないので、良い機会だと思います。
 - 和やかで気軽に相談できそうな雰囲気でした。
 - 最初に食事から話し始めることができるので、ただ話すだけの場よりも良いと思います。
 - 思ったよりも自分の専修を希望する1回生と話せてよかった。
 - 研究室紹介は上回生でも楽しめた。
 - 人がこんなに来ているのを知らなかったのが驚きました。
 - 楽しかったです。
 - 都市の離れた回生と交流することで、フレッシュな気持ちを思い出すことができた。
 - すしがうまかった。
4. 先輩相談室についてご意見、ご要望がありましたら自由に記入してください。
- 特にありません。
 - 使ったことはないからなんとも言えないが、先輩相談室の紹介が長いと思った。

- 昼休みにも行けるようにしてほしい。